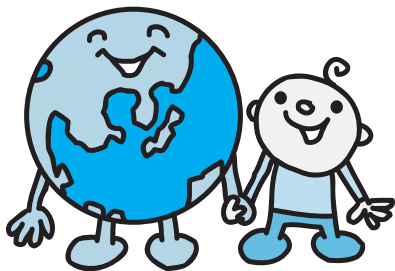


目指そうシンプルライフ

私たちの生活のあらゆる活動が環境に悪影響を与え、今日の環境問題になっていいることを考えると、私たち一人ひとりが、日常生活の中で意識的に環境に配慮した行動をとっていくことが重要になってきます。

最近では、ぜいたくで物質に恵まれた生活に対して心の豊かさを取り戻すためのライフスタイルを示すものとして「シンプルライフ」という言葉が使われています。必要なものだけを買う、長く、ていねいに使うという当たり前のことが地球にやさしい生活につながります。あなた自身のシンプルライフについて一度考えてみてはいかがでしょうか。

たとえ一人の取り組みは小さくても、広げれば大きな環境保全効果を生み出す。次のような暮らしの工夫を実践してみましょ。



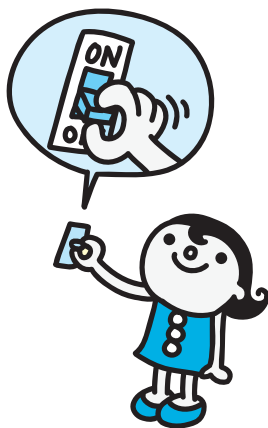
住生活

家庭で使用するエネルギーを節約しましょう。

冷暖房の温度を適切に設定する。

(例) 冷房28 ・ 暖房22

誰もいない部屋や廊下などこまめに消灯する。



長寿命で省エネルギー効果の高い電球形蛍光灯に取り替える。

ほ

かにも、太陽光発電や複層ガラス、効率的な断熱材などを活用したエコ住宅などの導入などがあげられます。市内の太陽光発電システムの設置は200世帯を超えています。

また、日常生活で資源を有効に活用することも必要です。

お風呂の残り湯を洗濯に使う。エコバッグを携帯して包装を断る。

使えるものをむやみに捨てない。

田

原市のごみ量は年間1万8000トンあり、年々増加しています。資源化率は29・8%で、さらなる減量化への取り組みが必要です。

衣生活

衣服の工夫で無駄をなくすことができます。

長く着ることのできる服を選ぶ。

着なくなった服はリユース、リサイクルに回す。

夏季はノーネクタイなどを実践し

冷房温度を上げる。

食生活

食生活の工夫も、環境保全につながります。

地元産の旬のものを食べる。

食べ残しを少なくする。

調理くずをできるだけ減らす。

買物

日常生活に必要なものを買うときにも工夫しましょう。家計の節約にもつながります。

省エネ性能の高い電化製品を選ぶ。

低燃費車・低排出ガス車を選ぶ。

再生紙など環境負荷の少ない環境配慮型製品を選ぶ。

省

エネルギーセンターから発行されている省エネ性能カタログなどを参考にしましょう。

交通

アイドリングストップ(停車時エンジン停止)を心がける。

公共交通機関など環境負荷の少ない交通手段を利用する。

近所へは徒歩や自転車で移動する。



一人ひとりの取り組みを広げていくためには、市民・事業者・行政の協力が欠かせません。

ごみのポイ捨てはやめましょ

6月6日(日)は、田原を美しくする推進デー。自分のごみは自分で持ち帰りましょ。